

## 銅人療法とは何か

### 銅人療法の定義

トムタム氏によって開発され、トムタム療法の一部をなす療法です。銅人療法は健康と生命力を回復させるための一種のエネルギーセラピーです。銅人療法は、病気とは気、神経の生体電気、血液、ホルモン等の体内の自然な流れの障害やブロックと関係があるという信念に基づいています。銅人療法はこれらのブロックを除去し、体の自然治癒力を回復させます。たとえ病気が慢性で体が衰弱していても、また治癒不能の場合であっても回復できます。

銅人療法は解剖学や生理学などの西洋の知識と「気」、生命エネルギーなどの古代の知識を結合し、多くの人が強力な新しい治療法とみなすものを創造しています。「集合的無意識」というユング理論を参考にして、銅人療法はこの宇宙の根源からのエネルギーにアクセスして、それを患者に向けることができると信じています。身体的な接触を必要としないので、銅人療法はしばしば遠隔治療として行われています。

典型的な治療セッションでは、銅人療法家は、患者のエネルギー的な象徴物として、小さな経絡人形のモデルを使います。軽量の磁気ハンマーで人形の所定のポイントを軽く叩きます。銅人療法家は、患者の状態に対応するブロックポイントに気を導き、これらのポイントの抵抗を除去します。血流、神経伝達、ホルモンの受容が回復するにつれて、体は癒されていきます。

宋王朝(1023年)の時、仁帝は帝国の最高の医学の学者を召喚し、「新銅人鍼灸経穴図注」を書き上げさせました。王惟一(おういいつ)は、鍼灸銅人の設計責任者でした。1027年に、2体の銅人が作られました。銅人療法はトムタム療法の重要な構成要素です。医学の最先端で、世界に対して貴重な貢献を行った中医学の先駆者を記念して、トムタムによって開発されたエネルギー療法体系は、中医学の先駆者によって作られた経絡モデルにちなんで名付けられました。